

薬物治療を受けた肝がんの方に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間：2021年6月24日 ～ 2025年12月31日

〔研究課題〕

肝癌薬物療法のリアルワールドデータを活用したオールジャパン研究

〔研究意義と目的〕

本研究では、日本における肝がん薬物療法の実際の使用状況のデータを集積します。大規模データの解析により、最適な治療順を評価することを目的とします。また、治療コストに関するデータも収集し、医療経済的な側面からも各治療を評価することを目的とします。

〔対象・研究方法〕

この研究は、国立国際医療研究センターおよび帝京大学医学系研究倫理委員会の承認を受けて実施するものです。これまでの診療でカルテに記録されている血液検査や尿検査結果、画像検査、病理検査などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

2015年4月1日以降、当院で肝がんに対する薬物療法を受けた場合、その都度、臨床情報を収集します。

〔研究機関名〕

この研究が行われる研究機関と研究責任者は次に示すとおりです。

研究機関 国立研究開発法人国立国際医療研究センター
研究責任者 國土典宏 理事長
担当業務 データ収集・匿名化・データ解析

研究機関 帝京大学医学部内科学講座
研究責任者 浅岡良成
担当業務 データ登録

〔個人情報の取り扱い〕

この研究に関わって収集される試料や情報・データ等は、外部に漏えいすることのないよう、慎重に取り扱う必要があります。あなたの個人情報を含まない診療情報は、NCD(National Clinical Database)上に構築された本研究用のデータベースに保管されます。NCD上での管理番号とあなたを同定する番号との対照表は、当院内科の暗号化されたサーバー内に厳重に保管されます。

この研究のためにご自分あるいはご家族のデータを使用してほしくない場合は主治医にお伝えいただくか、下記の研究事務局まで2025年12月31日までにご連絡ください。ご連絡をいただかなかった場合、ご了承いただいたものとさせていただきます。

研究結果は、個人が特定出来ない形式にして学会等で発表されます。匿名化して収集したデータは厳重な管理のもと保管され、保管期間は日本肝癌研究会追跡調査委員会により決定されます。ご不明な点がありましたら主治医または研究事務局へお尋ねください。

[その他]

この研究に関する費用は、厚生労働科学研究費補助金（がん対策推進総合研究事業）「日本における肝臓治療の実態把握と費用対効果の検証についての研究」から支出されています。

尚、あなたへの謝金はございません。

対象となる患者さんで、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：浅岡良成（帝京大学医学部附属病院内科准教授）

研究分担者：三浦亮（帝京大学医学部附属病院内科助教）

所属：内科学講座

住所：板橋区加賀 2-11-1

TEL:03-3964-1211(代表)〔内線 7143 〕